

論文とは？・・・**学術研究の結果を、道筋立てて述べた文章。**

「研究論文」・・・自分の研究成果を発表する

「紹介(レビュー)論文」・・・他人の研究成果を報告する

原著論文
必須の三要素

- 新規性 (originality)
- 有効性 (availability)
- 信頼性 (reliability)

オーサー(著者)の順序

First Author	:	実際に実験を行った人、論文の所有権を持つ。
Second Third...	:	貢献した順番に名前が並ぶ。
Last Author	:	通常研究室の教授(最高責任者)の名前を書く。 論文の所有権を持つ。

* ということで、該当論文についての質問は、First Authorに聞くのが一番！！

- [Managing dyspnea in patients with advanced chronic obstructive pulmonary disease: A Canadian Thoracic Society clinical practice guideline.](#)
- 1.

First Author

Marciniuk D, Goodridge D, Hernandez P, Rocker G, Balter M, Bailey P, Ford G, Bourbeau J, O'Donnell DE, Maltais F, Mularski RA, Cave AJ, Mayers I, Kennedy V, Oliver TK, Brown C.
Can Respir J. 2011 Mar-Apr;18(2):69-78.
PMID: 21499589 [PubMed - in process]

Last Author

論文の種類（諸説あるなかの1つ）は？

論文種類	査読	内容
原著論文 (学術雑誌)	◎	狭義ではこの原著論文のみを論文とみなす。 学術論文誌で公刊される論文。Journal(論文誌)かTransaction(会報・紀要)に掲載される。 長いものが多く、8枚以上の枚数で書かれることが多い。 査読者は2人以上で、査読時間が長い。 査読の結果、Accepted(採択)、Conditionally accepted(条件付き採択)、Rejected(不採択)という結果が来る。
速報(Letter)	○	Journal(論文誌)に掲載される、2-4枚程度で書かれる速報論文。 速報性を重視するため、査読は学術論文より短い。NATUREやSCIENCEだとLetterでもJournalと同じ位の重さをもつが、一般的にはLetterはあくまでLetterである。但し、論文と認められることは多い。
国際会議の講演録	○	Proceedings(講演録、予稿集)に掲載される。 1人から2人程度の査読があり、4枚から6枚程度で書かれる国際会議用の講演録。その為、論文と認められることもある。 条件付き採択は無い場合が多く、採択か不採択が直ぐに決まる。
国内学会の講演録 (抄録集)	△	1年に1回ほどの間隔で開いているが各学会(研究会)主催の学会における、研究の報告集。 最新情報を報告する、意見を交換する場。論文とは認められない。
博士論文	/	一般的に学位論文と言われる。学術論文(原著論文)や著書など、これまでに出した業績を下に、あるひとつのテーマに沿って、自分の研究をまとめたもの。

- 特定の1年間において、ある特定雑誌に掲載された論文が平均的に**どれくらい頻繁に引用されているか**を示す
- 計算方法は

＜例えば、2010年のIF＞

X ＝2008年、2009年に雑誌Aに掲載された論文が2010年中に引用された回数

Y ＝2008年、2009年に雑誌Aが掲載した論文数

雑誌Aの2010年のインパクトファクター＝ X/Y

- **学術雑誌を対象として、その雑誌の影響度を測る指標。**
- **雑誌のレベルを測る基準。**
- 分野によってIFの高さは代わり、**同じ研究分野の雑誌同士を相対的に比較する際に役立つ。**
- IFは指標として正しいのか正しくないのかには賛否両論ある。
例えば、レビュー論文を多く載せている雑誌はIFは高くなりやすい、分野の雑誌数が少ない方がIFは高くなりやすい（反対もあり）。

論文の基本構成（10の要素、5の核心要素）

- 論文は、学術研究の結果を道筋立てて、述べた文章である。
- 構成さえ理解していれば、大変分かりやすい文章である。

1	表紙 (Cover page)	
2	要旨 (Abstract)	論文の要旨(まとめ)
3	序言 (Introduction)	論文意義、論文の重要性の説明 論文内容を掻い摘んで記述
4	方法 (Methods)	「結論」を出すために必要だった結果を得るために踏んだ手段を記述（具体的な実験内容）
5	結果 (Results)	方法で書いた手順に従い、得られた最終の事柄や状態(結果)を記述（実験の最終結果）
6	考察 (Discussion)	結果について、掘り下げた考えを記述
7	結論 (Conclusions)	該当論文の総括。 考察を経て、到達した最終判断。
8	謝辞 (Acknowledgements)	
9	参照論文 (References)	
10	付録 (Appendix)	

**Abstractは、論文全体を読むことなく短時間で論文内容を把握する上で非常に重要！！
一般的に、100 - 300 wordsで論文を表している。**

- 報知的要旨(Informative Abstract)
どの様なことを、どの様に行い、どの様な結果を得て、その結果を得たかを記述
- 記述的論旨(Descriptive Abstract)
どの様なことを行った

報知的要旨の構成

- | | | |
|--------|-----------------|-----------------------|
| • 目的 | Propose | 研究テーマを選んだ目的 |
| • 方法 | Method | 目的を実現するための方法 |
| • 結果 | Results | 得られたデータ(事実) |
| • 結論 | Conclusions | データを論理的に分析して得られた結論 |
| • 推奨事項 | Recommendations | 論文中で浮かび上がった問題点(今後の課題) |

これだけの内容を100-300語で説明

= 読者に伝えたいこと柄が一杯あるのが論文だが、そのなかで最重要な点のみを記述せざるを得ない。

- **新しい結果の報告・発見・概念の提案などは、ほぼ英語論文という形式で発表**される。
 - 同分野で何が研究されているのか
 - 何がわかりつつあるのか
 - 現時点で、何が最新なのか
- **一番信頼性がある研究(最新)情報** : 似た研究をしている他の研究者による**査読**に通らないと論文は発表できない。
- 医学に携わる者として:**常に新しい治療法や検査法**etcに目を向けておく必要がある。
- 研究者として:**新規で世の中の役に立つ事を発見することを目的**とする。
 - 既に何がわかっているのかを知る必要がある。
 - 何が新しいのかははっきりさせる必要がある。(新規性)
 - それを証明するために論文にはReferenceがある。

